

① 防火対象物棟別概要追加書類

防火対象物棟別概要（第号）	用途	②		構造		③		
	種別 ④ 階別	⑤ 床面積 ㎡	⑥ 用途	⑦ 消防用設備等の概要				⑧ 特殊消防用 設備等の 概要
				消火設備	警報設備	避難設備	消火活動 上必要な 施設	
	階							
	階							
	階							
	階							
	階							
	階							
	階							
	⑨計							

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書類」（様式第4号の2）に必要な事項を記入して添付すること。
- 3 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれその合計を記入すること。
- 5 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。
- 7 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書（消火器具、避難器具等の配置図を含む。）を添付すること。

〔防火対象物棟別概要追加書類記入要領〕

項目	内容
①防火対象物棟別概要追加書類	同一敷地内に２つ以上の建物がある場合には、建物ごとに防火対象物棟別概要追加書類を提出します。
②用途	建物の用途を記入します。 (例：「飲食店」、「ホテル」、「工場」、「店舗兼住宅」等)
③構造	建物の構造を記入します。 (例：「木造」、「鉄骨造」、「鉄筋コンクリート造」等)
④階別・種別	建物の階別に種別(下記⑤～⑧)を記入します。
⑤床面積	建物の各階の床面積を記入します。
⑥用途	建物の各階の用途を記入します。 (例：「１階飲食店」「２階会議室」、「２階宿泊室」等)
⑦消防用設備等の概要	建物の各階に設置されている消火設備・警報設備・避難設備・消火活動上必要な設備を記入します。 (例) 消火設備 → 消火器・屋内消火栓設備等 警報設備 → 自動火災報知設備・非常警報設備等 避難設備 → 避難はしご・救助袋等 消火活動上必要な設備 → 排煙設備・連結送水管等
⑧特殊消防用設備等の概要	記入の必要はありません。
⑨計	⑤床面積の合計・⑦消防用設備等の合計を記入します。